

公共施設マネジメント通信

vol.9

平成 30 年度

まちづくりワークショップを開催しました！

平成 30 年 12 月 17 日発行

小田原市 企画部

公共施設マネジメント課

自分たちの生活圏にある公共施設のあり方を話し合う「まちづくりワークショップ」。市では平成 29 年度から、市街化調整区域から人口集中エリアまで多様な地域特性を持ち、様々な種類の公共施設がある、千代地区と鴨宮地区で始めています。

鴨宮地区（豊川エリア部会） ※計 2 回開催

進行：工学院大学 建築学部
遠藤 新 研究室

意見交換の概要

(第 9 回) 日時：10 月 3 日(水)18:30 ~ 20:30

参加者：7 名、傍聴者：1 名

(第 10 回) 日時：11 月 2 日(金)18:30 ~ 20:30

参加者：6 名、傍聴者：2 名

場所：生涯学習センター豊川分館 講堂



テーマ

豊川支所・分館跡地活用提案
について話し合う

意見交換の論点

- 日常的に利用しやすい空間かどうか
- 地域目線、利用者目線とさまざまな観点から見た時、何が足りないのか
- 将来的に利用されているイメージができるか



「豊川支所・分館跡地活用」民間活力導入型 3 案

地域コミュニティ+保育園案

地域コミュニティ+包括ケア案

地域コミュニティ+保育+包括ケア案



- 地域コミュニティ施設と共存した新しい保育園
- 広場にカフェが隣接し、地域の憩いの場となり多世代交流が見込まれる
- 地域コミュニティ施設と保育園は区画しセキュリティ確保

- 地域のためのホールを施設の中央に配置
- 人の流れ・賑わいが見える広場や開放的なカフェ、緩やかな階段のある屋上広場を整備

- 地域コミュニティ施設に複合化する、保育園と地域包括支援センターで収益を確保する
- 世代を超えた交流と、地域の拠点化を目指す



「豊川支所・分館跡地活用」の提案に対する参加者の意見

	意見	改善のアイデア		意見	改善のアイデア
コミュニティ	○地域コミュニティがあくまで中心	→多世代が交流できる場を整備し、バリアフリーにも配慮する	保育園	○前の通りは車が多く登園・降園時に対策が必要	→駐車場は一方通行でループさせ対処する
	○1階にある方が良い			包括ケア	○執務室の面積は大きくなくていい
防災	○カフェ施設がほしい	→交流スペースに併設	全体		○包括ケアの収益だけでは施設運営が難しい
	○防災拠点は小学校なので、防災倉庫や貯水タンクは必要ない	→サブの防災拠点として避難できる空間を整備		○地域コミュニティ+保育+包括ケア案が良いのでは	→他の 2 案の良い要素を取り入れ再検討する
	○避難できる空間はほしい	→日常的に動線を分かりやすくする			

意見交換の概要

(第8回) 日時：10月2日(火)18:30～20:30 参加者：14名
場所：梅の里センター 大会議室 傍聴者：1名



第8回テーマ

地区公民館の現状について
学校活用の提案まとめ

意見交換の視点

学校（千代小学校・下曽我小学校・曾我小学校）を、地域コミュニティの「核」とするために、各学校への提案や前回の議論を踏まえまとめる。

当日の流れ

- 学生による調査報告(30分)
- 意見交換・発表(90分)

■ 小学校を地域コミュニティの「核」とするための提案に対する参加者の意見・アイデア

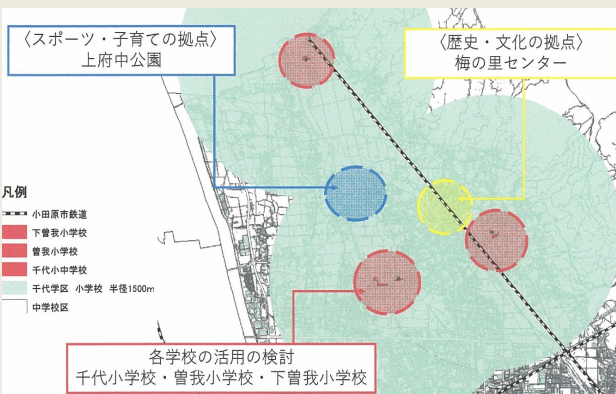
	千代小学校	下曽我小学校	曾我小学校（体育館）
提案	①上府中支所 → 駐車場	○地域開放の教室を増やし、地域利用を促進	○集会機能(50人規模)を持つ体育館として開放
	②上府中分館 → 教室・多世代交流ルーム 習い事など子ども達の居場所と、地域団体の拠点とすることで、多世代交流を促す	・特別教室は、夜間のみでなく授業で利用しない時間の開放を検討 ・体育館をスポーツ開放	○コミュニケーションルーム(プラザ)の拡張 → 構造上の問題から難しい ○放課後児童クラブを移動させ、プラザを2階に移動 → 教室の南側配置が必要であるため難しい ○暗証番号式キーボックス等で鍵を管理 → 登録団体には鍵を貸与済み
	③講堂 → スポーツ・健康促進の使用	○地域と小学生の交流の場を創出	
	④千代小学校地域開放区画 図書室や家庭科室等の特別教室を地域開放し、生涯学習、多世代交流の拠点とする	食堂を小学生と地域で共有するか、または小学生が利用しない時間での地域利用を検討	

参加者の意見	今～建替えまで	○小学校の建替えまでは、上府中分館講堂を利用したい → 下曾我市民集会施設を参考に ○セキュリティの問題上、地域利用の棟と学校利用の棟を分離する ○高齢者などに配慮しバリアフリー化
	建替え時に欲しい機能	講堂(100人規模)、サロン活動できる部屋(30～50人)、小中高生が自習し高齢者がパソコンを使える部屋、各団体の倉庫
	まとめ	○保育園や中学校と複合化を検討 ○梅の里センターの利用を促進

学校の開放について	○下曾我市民集会施設の管理方法を参考(開放は登録団体に限る) ○一日開放が理想だが、放課後開放が現実的
1階の食堂について	○小学生との交流を促す空間として、地域に開放できないか
まとめ	○特別教室を地域に開放し、地域の活動拠点に

設備について	○現状のままでは不便 ○バリアフリー化は必要
管理について	○学校の負担にならない管理方法を検討
利用者間の調整について	○これまで分館を利用していた団体が体育館を利用し混雑する → 利用者間の調整必要 → 他の施設を紹介する → エリア別の検討

<千代地区の主な公共施設の配置>



【問い合わせ先】

小田原市企画部公共施設マネジメント課
TEL：0465-33-1305 FAX：0465-33-1286
Email：shisetsu@city.odawara.kanagawa.jp
〒250-8555 小田原市荻窪 300 番地